

アジア経済
研究所

中東和平と西岸・ガザ

— 占領地問題の行方 —

池田明史編

研究双書
No. 389

中東和平と西岸・ガザ

— 占領地問題の行方 —

池田明史編

アジア経済研究所

研究双書No. 389

池田明史編「中東和平と西岸・ガザ—占領地問題の行方—」

英文表題および目次

Title

Chūtō Wahei to Seigan-Gaza—Senryōchi Mondai no Yukue

(Quest for an Israeli-Palestinian Settlement : West Bank and Gaza in the Scope of Peace Process)

Editor

Akifumi IKEDA

Contents

- Chapter 1. Changing Patterns of the Israeli Occupation Policy
— The Rise and Fall of “Benign Occupation” —
(Akifumi IKEDA)
- Chapter 2. The Superpowers’ Positions on the “Territories”
— Views from Washington and Moscow —
(Shūzō KIMURA)
- Chapter 3. Israeli Searches for “Secure and Recognized Boundaries”
on the Eastern Border
(Mariko TSUJITA)
- Chapter 4. PLO, Jordan and the Occupied Territories
— Their Special Relationship —
(Ryōji TATEYAMA)
- Chapter 5. Islamic Factor within the Intifada
(Kazuo TAKAHASHI)
- Chapter 6. American Jewry on the Palestinian Question
— An End to Blind Allegiance ? —
(Tetsu KŌNO)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 389]

Published by Institute of Developing Economies, 1990
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162, Japan

中東和平と西岸・ガザ

いけだ あきふみ
池田明史 (アジア経済研究所総合研究部)

きむら しゅうぞう
木村修三 (神戸大学法学部教授)

つじた まりこ
辻田真理子 (武庫川女子大学講師)

たてやま りょうじ
立山良司 (中東経済研究所研究副主幹)

たかはし かずお
高橋和夫 (放送大学助教授)

こうの てつ
河野 徹 (法政大学教養部教授)

—執筆順—

中東和平と西岸・ガザ
—— 占領地問題の行方 ——

研究双書389

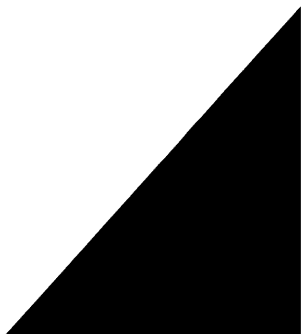
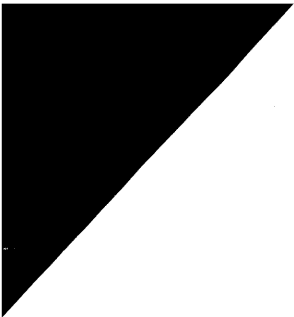
1990年2月20日発行©

編者 池田明史

発行所 アジア経済研究所
東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(353)4231(代)

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04389-3 C3033



目 次

まえがき

第1章 「寛容な占領」神話の蹉跌……………池田 明史…	3
はじめに……………	3
第1節 占領の開始……………	6
第2節 「自由放任」路線……………	8
第3節 「積極主義」路線の登場……………	10
第4節 二つの選挙……………	13
第5節 リクード政権の誕生と占領政策……………	16
第6節 「村落連合」構想……………	18
第7節 「寛容な占領」の崩壊……………	21
結び……………	23
第2章 パレスチナ占領地問題と米ソの対応 ……木村 修三…	29
はじめに……………	29
第1節 占領地問題の発生と米ソ……………	31
第2節 パレスチナ問題の棚上げ……………	36
第3節 包括的解決への志向とその挫折……………	45
第4節 1982年以降の米ソの対応……………	54

第3章 イスラエルの東部国境設定について ——イスラエル諸政党の試案と国家観の推移——	
……………辻田 真理子…	67
はじめに……………	67
第1節 1969年総選挙……………	72
第2節 1988年総選挙……………	81
第3節 各立場の思想の変化と勢力推移……………	97
おわりに……………	109
第4章 西岸・ガザとPLO, ヨルダン ……………立山 良司…	117
はじめに——問題の設定……………	117
第1節 PLO, ヨルダンと西岸・ガザとの基本的関係 ……………	118
第2節 1970年代後半から80年代における西岸・ガザ, PLO, ヨルダン……………	125
第3節 インティファダの影響……………	130
結びに代えて……………	138
第5章 イスラミック・ファクター……………高橋 和夫…	145
はじめに……………	145
第1節 背景……………	146
第2節 イスラム勢力の伸長……………	148
第3節 構成……………	151
第4節 イデオロギー……………	152
第5節 イスラム勢力とPLO ……………	155
第6節 インティファダ……………	156
第7節 イスラム勢力の将来……………	158
第8節 中東和平とイスラム原理主義……………	161

第6章 ユダヤ系アメリカ人とパレスチナ問題	
——盲目的翼賛の終焉か——	河野 徹… 165
第1節 翼賛体制への道	165
第2節 弱すぎる批判と強すぎる反批判	170
第3節 翼賛体制の破綻	181